

# 福岡 全国平均下回り続け…

# 子供の体力 取り戻せ



全国平均に比べ、子どもの体力低下が目立つ福岡県で、子どもに運動を教える取り組みが広がっている。プロの講師が特殊な器具を使って体の動かし方を教える教室や、体育専門

の家庭教師の派遣サービスなどが登場。県教育委員会も体育の授業や運動部活動を対象に新事業を導入するなど、官民双方の活動が定着しつつある。

## 運動教室、家庭教師も 官民で取り組み広がる

プロのトレーナーに体の動かし方を教わる子供たち  
(福岡市博多区)

「一つのますで三歩ずつ足踏みをするように走ってみよう」。地面に敷いた、はしご状のひも「ラダー」をトレーナーの指示通り、子どもたちが夢中で駆け抜ける。十一月に福岡市のスポーツ施設で開かれた運動教室「コカケンジュニアトレーニング」。ラダーを使った運動、馬とび、ゴムボールの上立つバランス運動など、大人顔負けの専門的なメニューを計一時間三十分間こなす。

### 「参加者が倍増」

教室に参加した、ある小学生は「見て見て、うまくできたよ」と疲れを知らない様子。福岡市の小学三年、中西彩さん(8)は「だんだんうまくなってるらしい」と声を弾ませる。母親の麻由子さん(40)も「近所に子どもが遊ぶ場所がない。今日は体を思いっきり動かせる」と喜ぶ。

園児や小学生に体育指導する子ども環境総研(福岡県福津市)が十月から月一回の頻度で同教室を開催。同社は四年前から駆けつけや自転車の乗り方など複数の運動教室を開いているが、「昨年からは参加者が増え始め、以前の倍くらいの人数がくるようになった」(柴田英俊社長)。

体育専門の家庭教師を派遣する企業も出てきた。「遊びの要素を取り入れ、うまくいったらほめる。体を動かす喜びを教えたい」と話すのは、西

日本家庭教師派遣センター九州本部(福岡市)が運営する「ヒット&ゴール」の講師、高村水碧さん(23)。週に二日ほど、

子どもに運動を教えるサービスは増える一方だが、実は福岡県は運動が苦手な子が多い。文部科学省が毎年実施する新体

幼稚園から小学校低学年の複数の子に駆けつけや球技などを教える。運動会で一着をとれるようになる子も多いという。

「ヒット&ゴール」では昨年八月から体育家庭教師の派遣を開始。これまで五十以上の家庭に教師を派遣してきた。親が「体育が苦手です登校が」

「体育が苦手です登校が」などと言っている例もあるという。同社の吉弘浩二教務課主任は「学校体育について行けない子にもマ

子どもに運動を教えるサービスは増える一方だが、実は福岡県は運動が苦手な子が多い。文部科学省が毎年実施する新体

力テストの総得点が小学校一年一高校三年までのすべての学年で四年連続、全国平均を下回った。民間での取り組みが活発になるなか、行政も子どもの体力向上への取り組みを本格化する。

県教委は昨年末から小学校の学級単位で参加できるホームページ「スポーツ広場」を開発。教諭がホームページに自分のクラスの児童の体力を入力して、状況を継続的に把握できるようにした。

地域のスポーツ指導家や学生を、中学校の運動部活動の外部指導者として派遣する事業も始めた。県教委の担当者は「さらに参加者を増やし、少しでも体力低下に歯止めをかけたい」と意気込んでいる。

## 消毒剤管理の不備 井戸水汚染で伊藤ハム推定

伊藤ハム東京工場(千葉県柏市)が基準を超えの管理の不備や使用量の誤りが原因と推定していることが四日、分かった。

地下水自体が汚染されている可能性は低いという。五日に外部識者による

## 「妻も高級官僚と同じ」

臣会議で、全庁庁でICカード付き身分証や対応型入退館ゲートを導入する

## 逮捕

四日午前十時ごろ、北九州市門司区高田一の福岡銀行門司駅前支店に包丁を持った男が押し入り、

川崎町のコーン申込機一台(百三十三万円相当)を窃取するなどした。